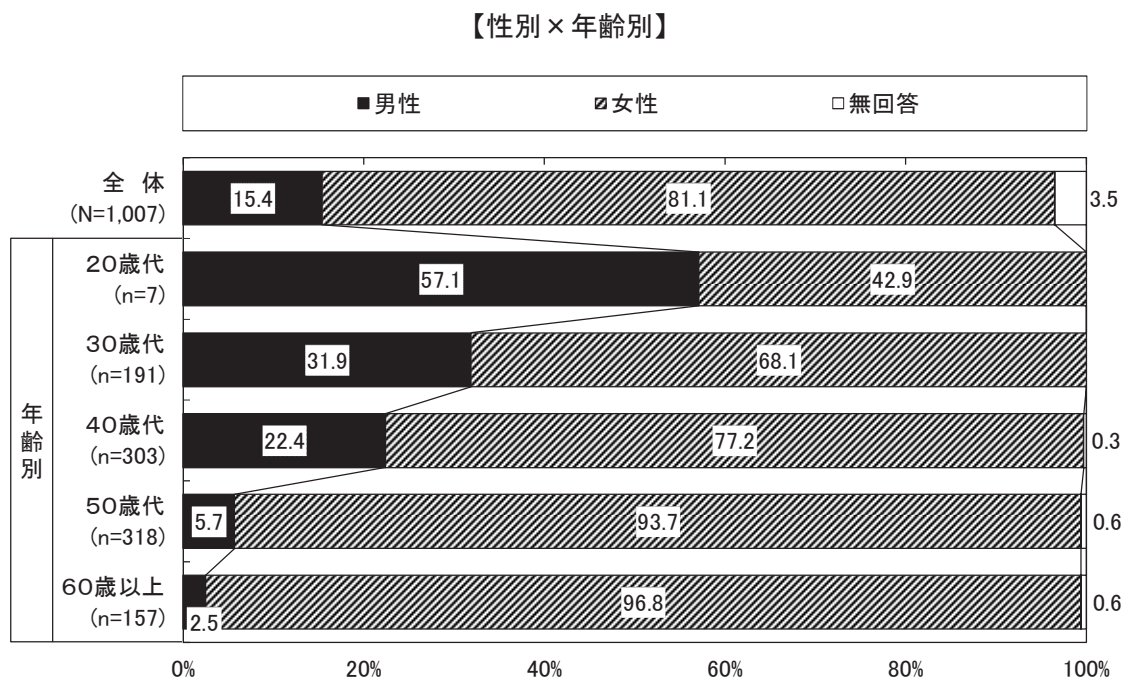


## 第8章 介護支援専門員調査

## 1. 回答者の属性

## (1) 性別

問1 あなたの性別は。(〇は1つ)

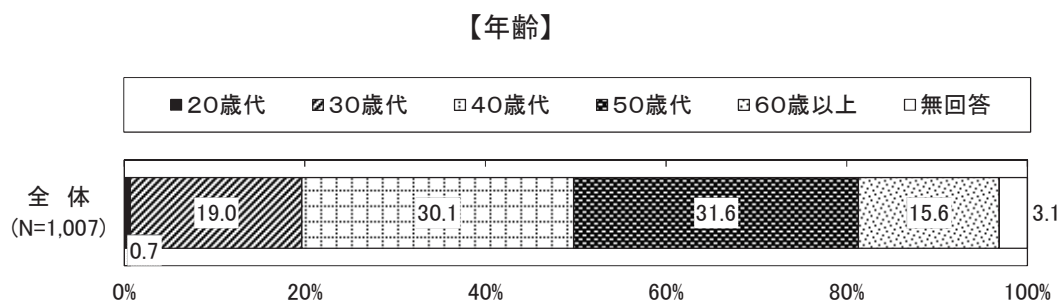


対象者の性別は、「男性」が15.4%、「女性」が81.1%となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて女性の割合が高くなっており、50歳代、60歳以上では9割台となっている。

## (2) 年齢

問2 あなたの年齢は。(平成28年10月1日現在)(〇は1つ)

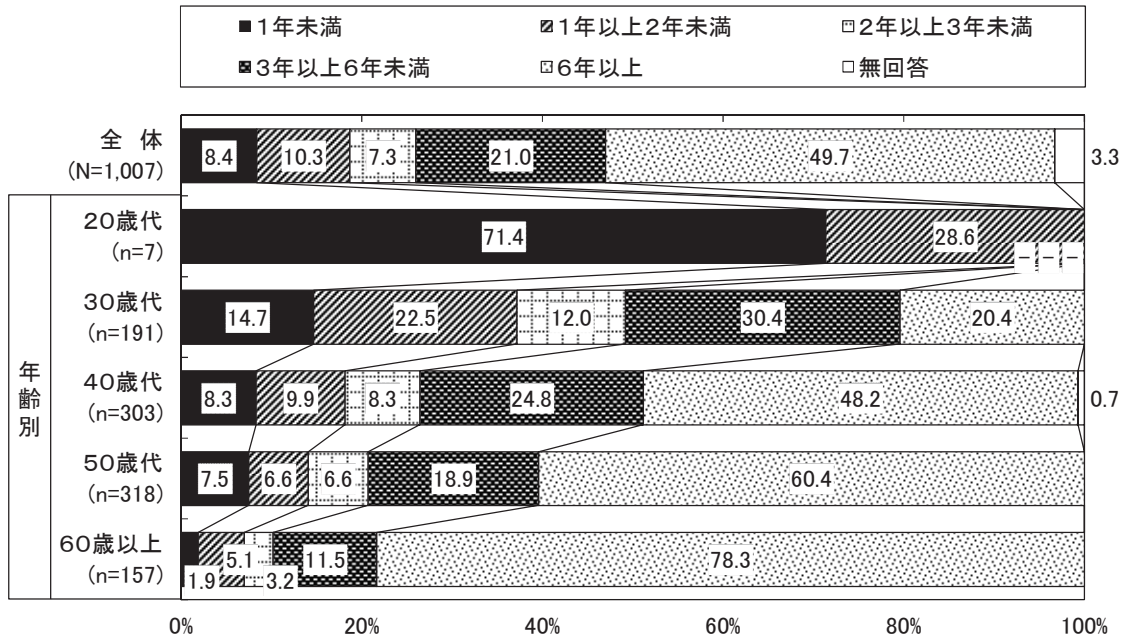


年齢は、「50歳代」が31.6%で最も高く、次いで「40歳代」が30.1%、「30歳代」が19.0%となっている。

(3) 介護支援専門員の経験年数

問3 あなたが介護支援専門員として働き始めてから何年ですか。(〇は1つ)

【介護支援専門員の経験年数×年齢別】



介護支援専門員歴は、「6年以上」が49.7%で最も高く、次いで「3年以上6年未満」が21.0%、「1年以上2年未満」が10.3%となっている。

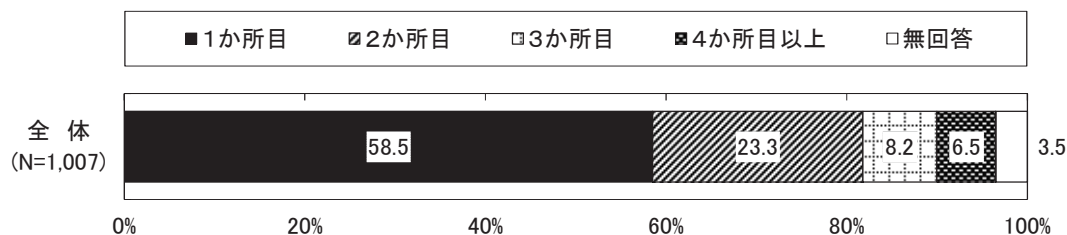
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて経験年数も長くなり、50歳代、60歳以上では「6年以上」の割合が半数を超えている。

## (4) 介護支援専門員としての経験事業所

## ① 介護支援専門員としての経験事業所数

問4 あなたが現在勤めている居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおかは、介護支援専門員として働き始めて何か所目の事業所ですか。(異動などによる同一法人内での勤務地の変更を除きます)

【介護支援専門員としての経験事業所数】



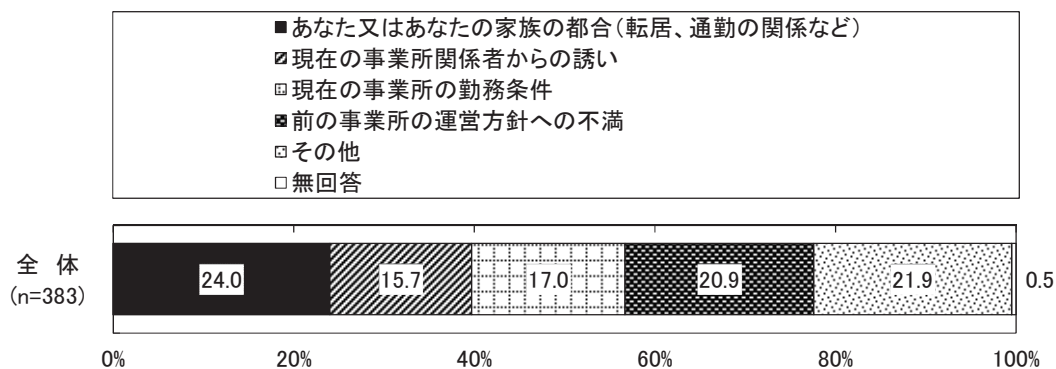
介護支援専門員としての経験事業所数は、「1か所目」が58.5%で最も高く、次いで「2か所目」が23.3%、「3か所目」が8.2%となっている。

## ② 現在勤務している事業所に移った理由

## 【問4で「2か所目」以上と答えた方にうかがいます】

問4-1 現在、勤務している事業所に移った理由は何ですか。(○は1つ)

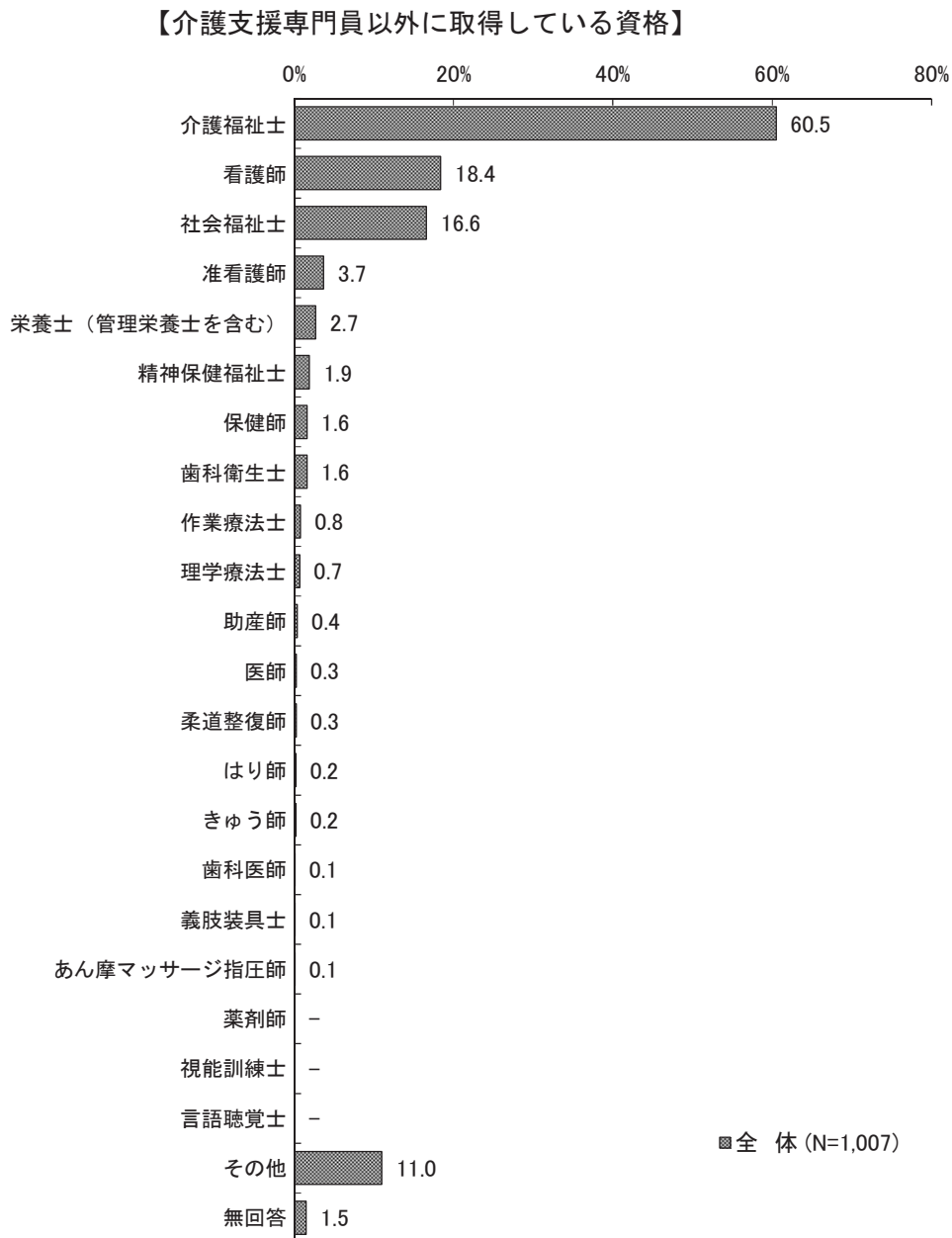
【現在勤務している事業所に移った理由】



現在勤務している事業所に移った理由は、「あなた又はあなたの家族の都合(転居、通勤の関係など)」が24.0%で最も高く、「前の事業所の運営方針への不満」が20.9%となっている。

(5) 介護支援専門員以外に取得している資格

問5 あなたが介護支援専門員以外に取得している資格などは何ですか。(〇はいくつでも)

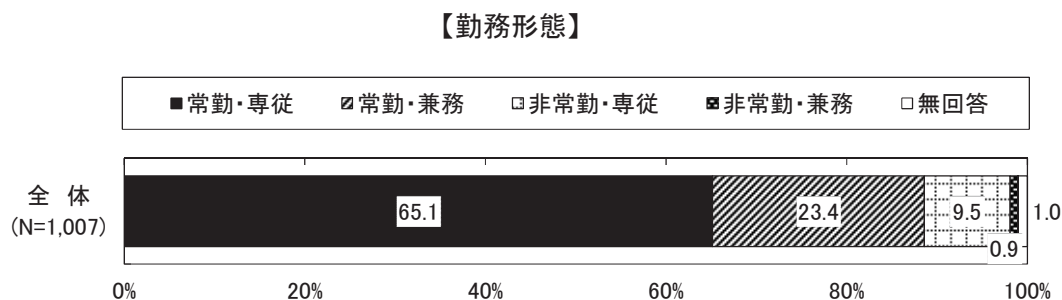


介護支援専門員以外に取得している資格は、「介護福祉士」が 60.5%で最も高く、次いで「看護師」が 18.4%、「社会福祉士」が 16.6%となっている。

## (6) 勤務状況

## ① 勤務形態

問6 あなたの勤務形態は次のうちどれですか。(〇は1つ)

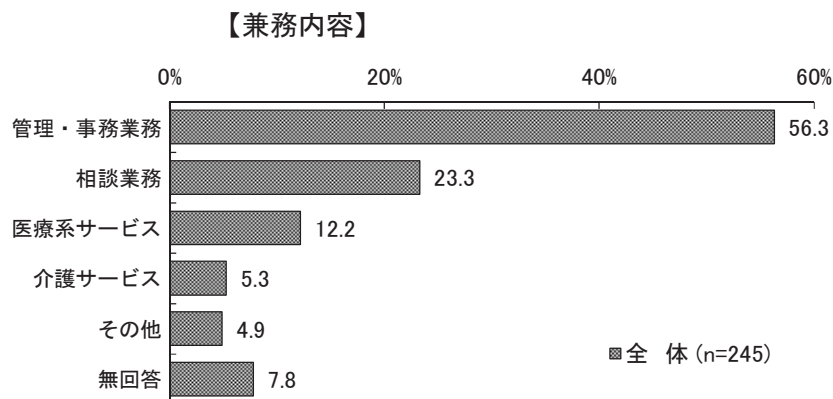


勤務形態は、「常勤・専従」と「常勤・兼務」を合わせた『常勤』が88.5%となっている。

## ② 兼務内容

**【問6で「2.」か「4.」と答えた方にうかがいます】**

問6-1 どのような業務を兼務していますか。(〇はいくつでも)



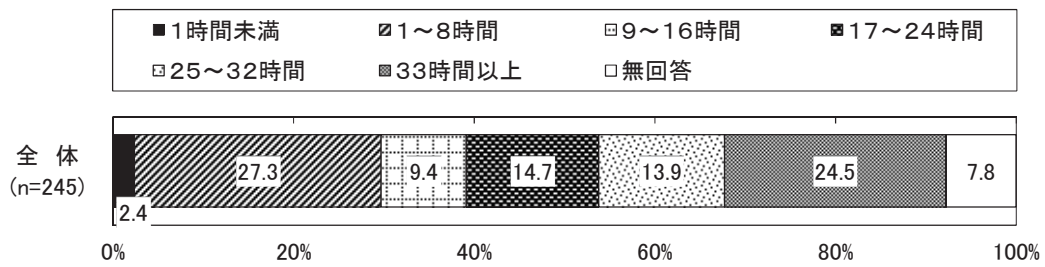
兼務内容は、「管理・事務業務」が56.3%で最も高く、次いで「相談業務」が23.3%、「医療系サービス」が12.2%となっている。

③ 従事時間

【問6で「2.」か「4.」と答えた方にうかがいます】

問6-2 1週間のうち、居宅介護支援、介護予防支援に従事する時間は平均どれくらいですか。

【従事時間】

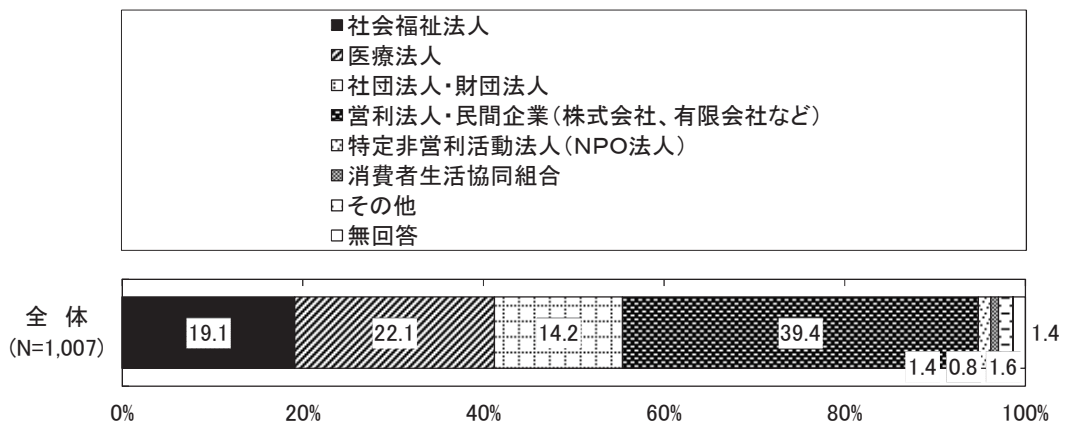


従事時間は、「1～8時間」が27.3%で最も高く、次いで「33時間以上」が24.5%となっている。

(7) 事業所の法人種別

問7 あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおかの法人種別などは何ですか。(〇は1つ)

【事業所の法人種別】

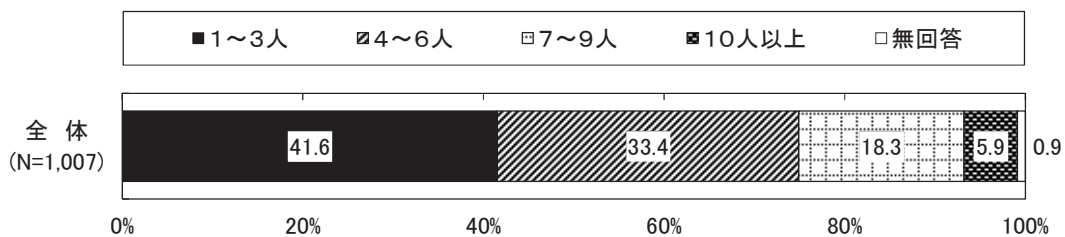


事業所の法人種別は、「営利法人・民間企業(株式会社、有限会社など)」が39.4%で最も高く、次いで「医療法人」が22.1%、「社会福祉法人」が19.1%となっている。

(8) 事業所の介護支援専門員数

問8 あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおかには、あなたを含めて何人の介護支援専門員がいますか。

【事業所の介護支援専門員数】



事業所の介護支援専門員数は、「1～3人」が41.6%で最も高く、次いで「4～6人」が33.4%、「7～9人」が18.3%となっている。

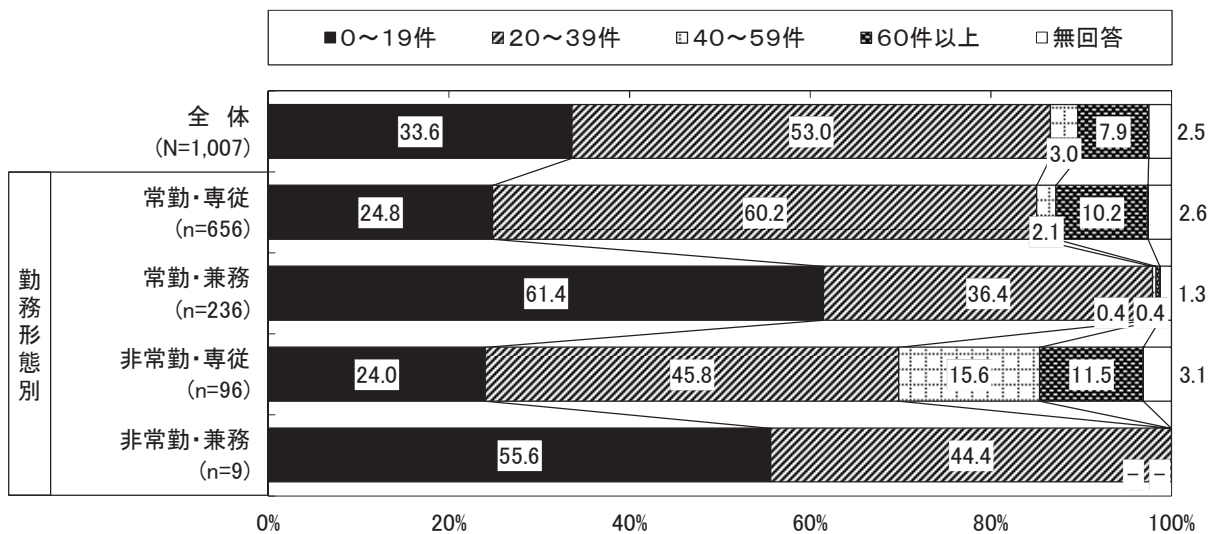
## 2. ケアマネジメントについて

### (1) 給付管理件数

【以下の設問（問9～問14-2）は平成28年10月の状況について教えてください】

問9 あなたが給付管理を行ったケース（利用者が10月にサービスを利用し、介護報酬の対象となったケース）は何件ですか。

【給付管理件数×勤務形態別】



給付管理件数は、「20～39件」が53.0%で最も高く、次いで「0～19件」が33.6%、「60件以上」が7.9%となっている。

平成28年10月の介護支援専門員一人あたりの給付管理件数は26.3件となっている。なお、平成25年10月の一人あたりの給付管理件数は27.3件となっている。

勤務形態別にみると、常勤・専従、非常勤・専従では「60件以上」の割合が他の勤務形態と比べて高くなっている。

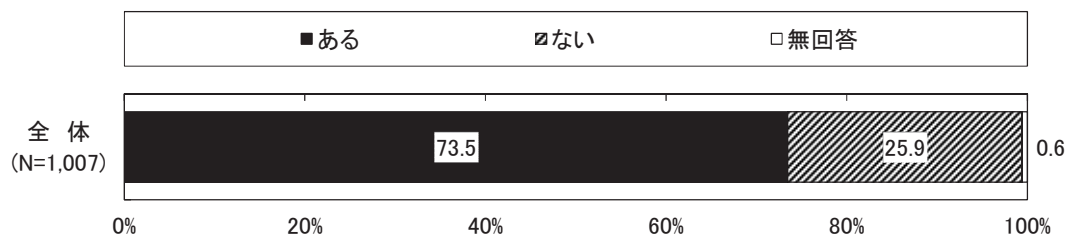


## (2) 保険外サービスを組み合わせたケアプラン

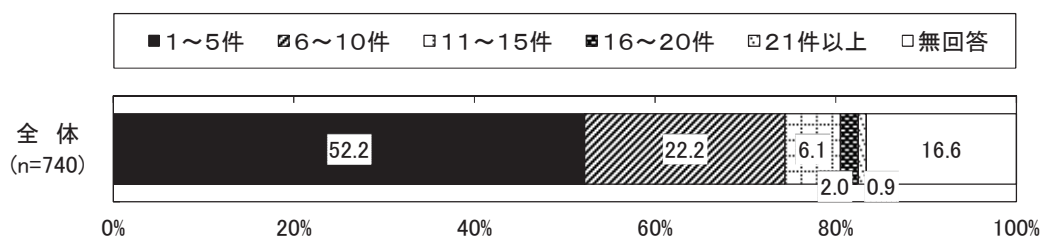
## ① 保険外サービスを組み合わせたケアプランの有無

問 10 市の福祉サービス、ボランティアなどの保険外サービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。あればその件数も記入してください。(〇は1つ)

【保険外サービスを組み合わせたケアプランの有無】



【保険外サービスを組み合わせて作成したケアプランの件数】



ケアマネジャー全体（1,007人）の73.5%（740人）が保険外サービスを組み合わせたケアプランを作成したと回答している。

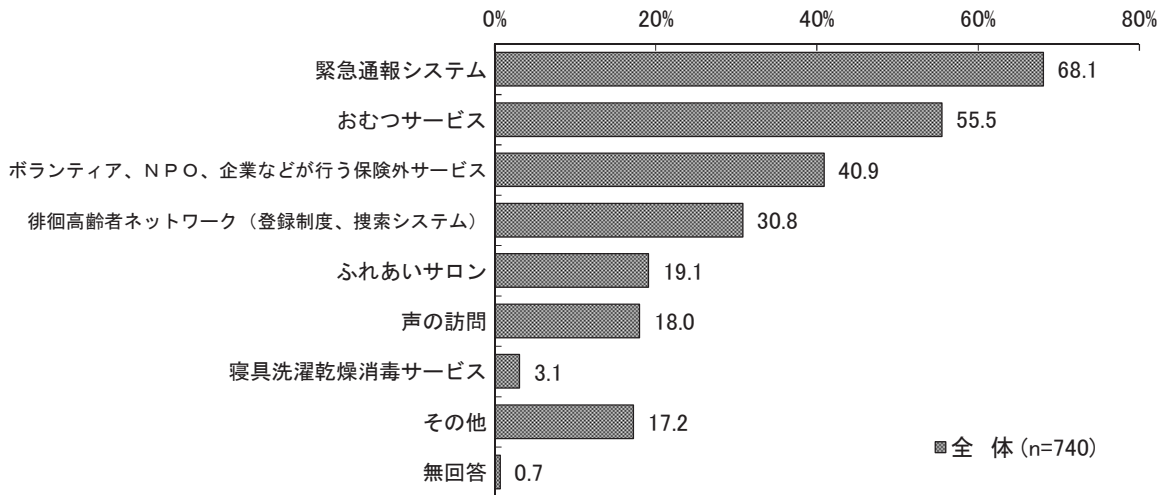
保険外サービスを組み合わせて作成したケアプランの件数は、「1～5件」が52.2%で最も高く、次いで「6～10件」が22.2%、「11～15件」が6.1%となっている。

② ケアプランで組み合わせた保険外サービスの種類

【問 10 で「1.」と答えた方にうかがいます】

問 10-1 そのサービスの種類は何ですか。該当するものの番号を○で囲み、またケースの件数も記入してください。(○はいくつでも)

【ケアプランで組み合わせた保険外サービスの種類】



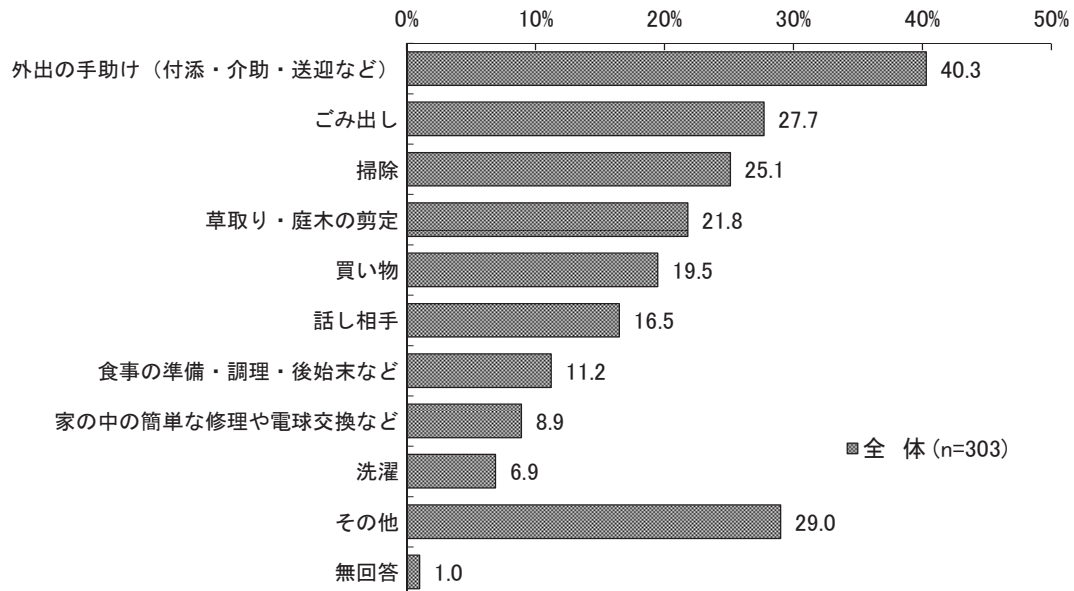
ケアプランで組み合わせた保険外サービスの種類は、「緊急通報システム」が 68.1%で最も高く、次いで「おむつサービス」が 55.5%、「ボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービス」が 40.9%となっている。

## ③ ケアプランで組み合わせたボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービスの内容

【問10-1で「7.」と答えた方にうかがいます】

問10-2 ケアプランで組み合わせた保険外サービスの内容は何ですか。(〇はいくつでも)

【ケアプランで組み合わせたボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービスの内容】



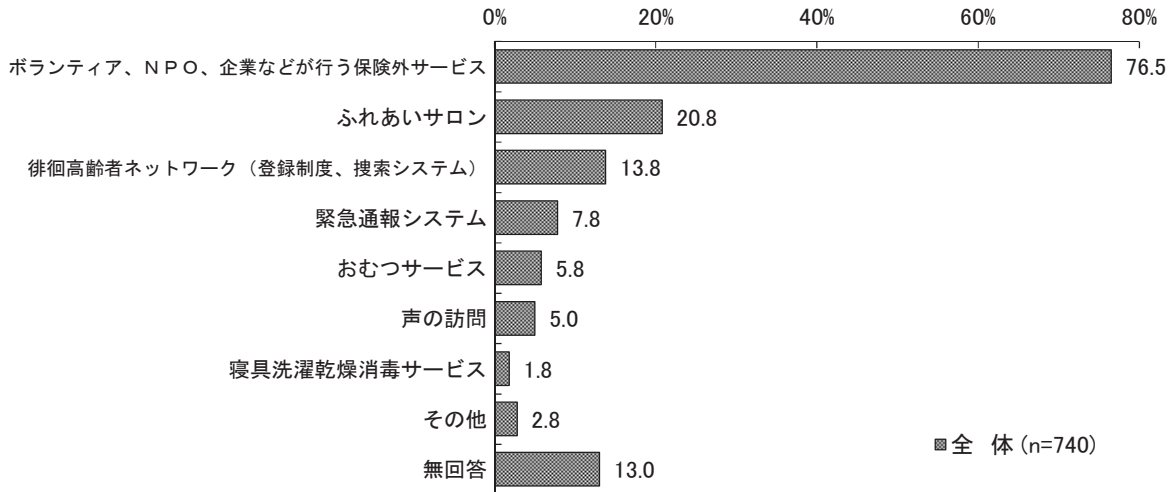
ケアプランで組み合わせたボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービスの内容は、「外出の手助け (付添・介助・送迎など)」が40.3%で最も高く、「ごみ出し」が27.7%となっている。

④ 今後充実が必要な保険外サービスの種類

【問 10 で「1.」と答えた方にうかがいます】

問 10-3 現在不足しており、今後充実が必要と思うサービスは何ですか。(〇はいくつでも)

【今後充実が必要な保険外サービスの種類】



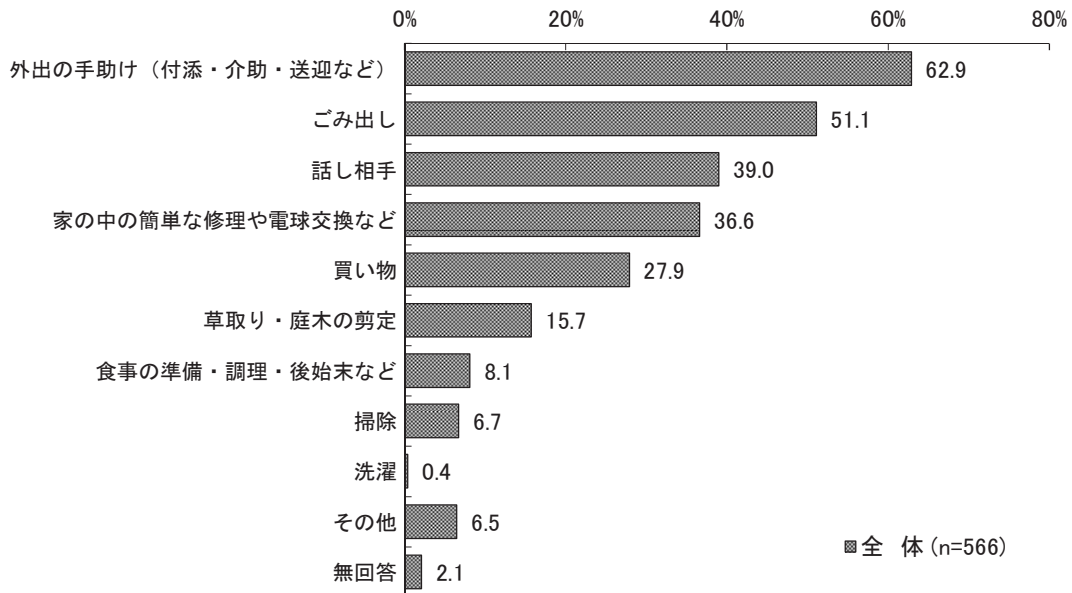
今後充実が必要な保険外サービスの種類は、「ボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービス」が 76.5% で最も高く、次いで「ふれあいサロン」が 20.8%、「徘徊高齢者ネットワーク (登録制度、検索システム)」が 13.8% となっている。

## ⑤ 今後充実が必要なボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービスの内容

## 【問10-3で「7.」と答えた方にうかがいます】

問10-4 今後充実が必要な保険外サービスの具体的な内容は何ですか。(〇は3つまで)

## 【今後充実が必要なボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービスの内容】

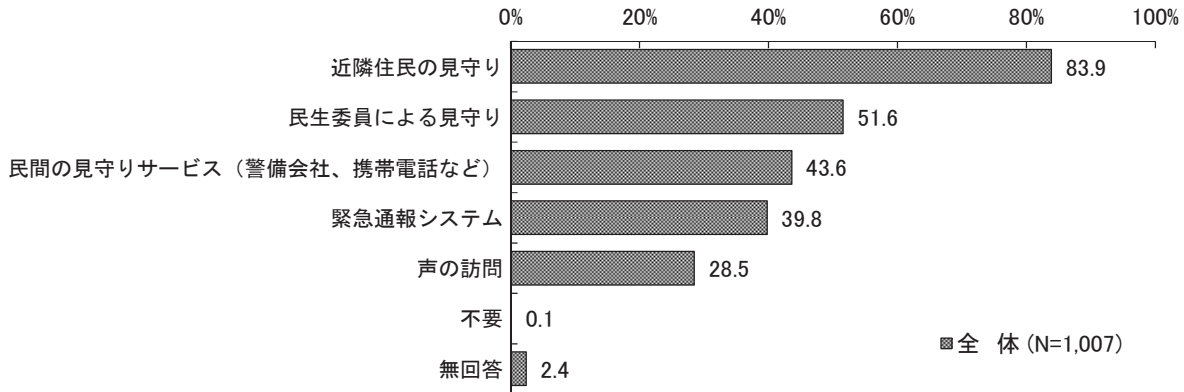


今後充実が必要なボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービスの内容は、「外出の手助け (付添・介助・送迎など)」が62.9%で最も高く、次いで「ごみ出し」が51.1%、「話し相手」が39.0%となっている。

(3) 介護サービス受給者に必要な「見守り」サービス

問 11 介護サービス受給者の場合、どういった「見守り」サービスが必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

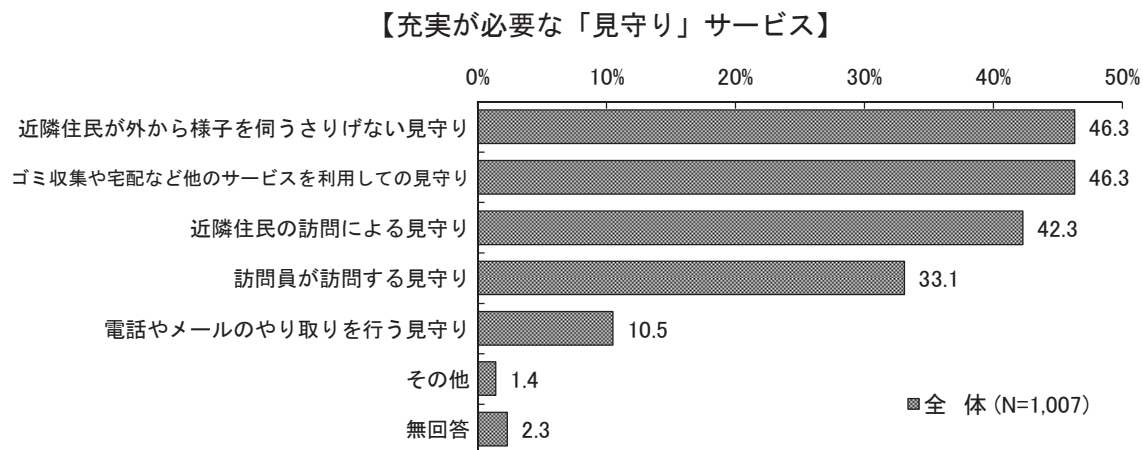
【介護サービス受給者に必要な「見守り」サービス】



介護サービス受給者に必要な「見守り」サービスは、「近隣住民の見守り」が 83.9%で最も高く、次いで「民生委員による見守り」が 51.6%、「民間の見守りサービス (警備会社、携帯電話など)」が 43.6%となっている。

## (4) 充実が必要な「見守り」サービス

問12 どういった「見守り」サービスを今後充実させるといいと思いますか。(〇は2つまで)

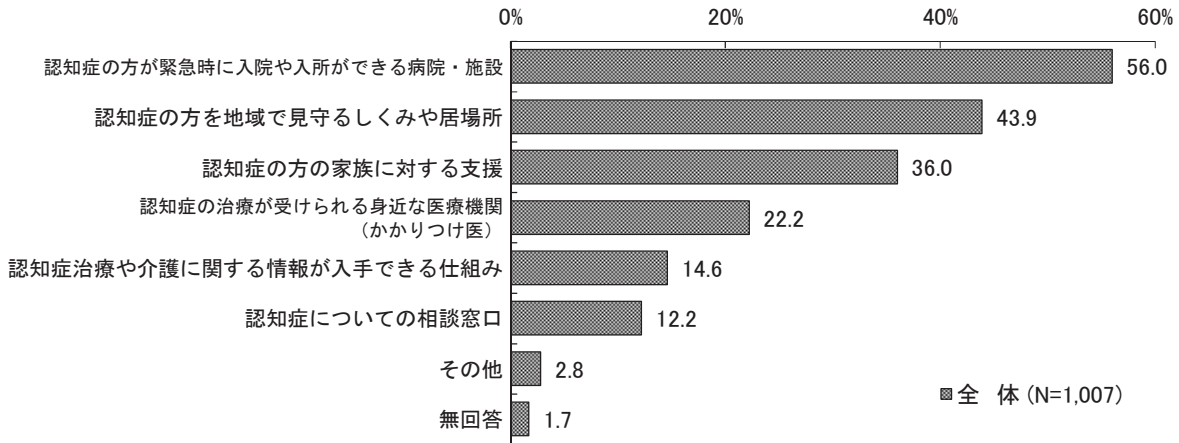


充実が必要な「見守り」サービスは、「近隣住民が外から様子を伺うさりげない見守り」「ゴミ収集や宅配など他のサービスを利用しての見守り」がともに46.3%で最も高く、次いで「近隣住民の訪問による見守り」が42.3%、「訪問員が訪問する見守り」が33.1%となっている。

(5) 不足している認知症患者の支援体制

問 13 認知症の方の支援体制として、どのようなものが不足していると考えますか。  
(〇は2つまで)

【不足している認知症患者の支援体制】



不足している認知症患者の支援体制は、「認知症の方が緊急時に入院や入所ができる病院・施設」が 56.0%で最も高く、次いで「認知症の方を地域で見守るしくみや居場所」が 43.9%、「認知症の方の家族に対する支援」が 36.0%となっている。

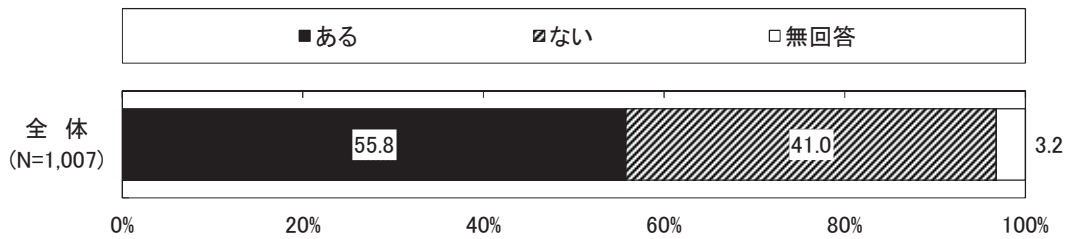


(6) 在宅での生活が困難なケース

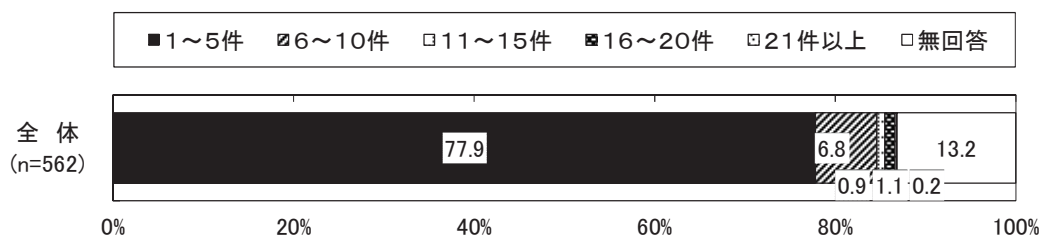
① 在宅での生活が困難なケースの有無

問 14 在宅での生活が困難なケースはありますか。あればその件数も記入してください。  
(〇は1つ)

【在宅での生活が困難なケースの有無】



【在宅での生活が困難なケースの件数】



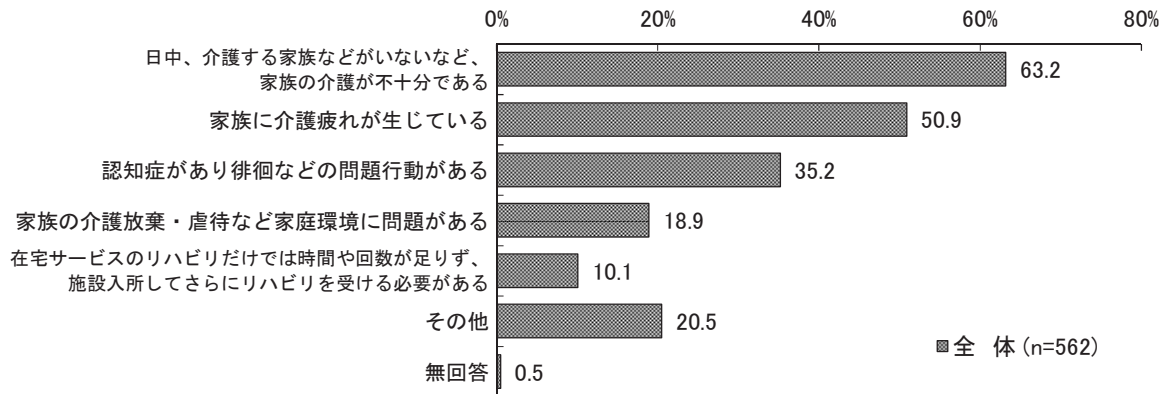
ケアマネジャー全体（1,007人）の55.8%（562人）が在宅での生活が困難なケースがあると回答している。在宅での生活が困難なケースの件数は、「1～5件」が77.9%で最も高く、次いで「6～10件」が6.8%、「16～20件」が1.1%となっている。

② 在宅での生活が困難なケースの内容

【問 14 で「1.」と答えた方にうかがいます】

問 14-1 具体的にはどのようなケースですか。該当するものの番号を○で囲み、またケースの件数も記入してください。(○はいくつでも)

【在宅での生活が困難なケースの内容】



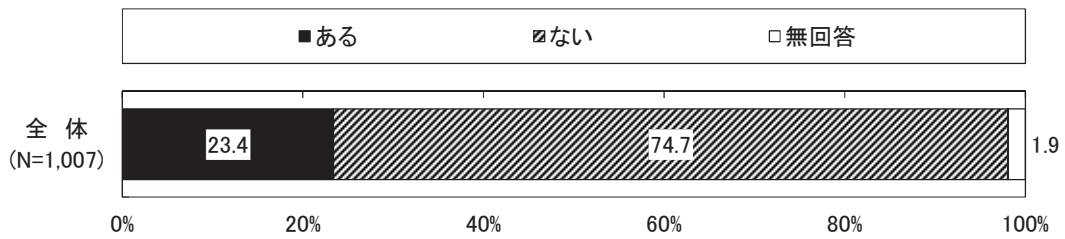
在宅での生活が困難なケースの内容は、「日中、介護する家族などがいないなど、家族の介護が不十分である」が 63.2% で最も高く、次いで「家族に介護疲れが生じている」が 50.9%、「認知症があり徘徊などの問題行動がある」が 35.2% となっている。

(7) 小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた経験

① 小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた経験の有無

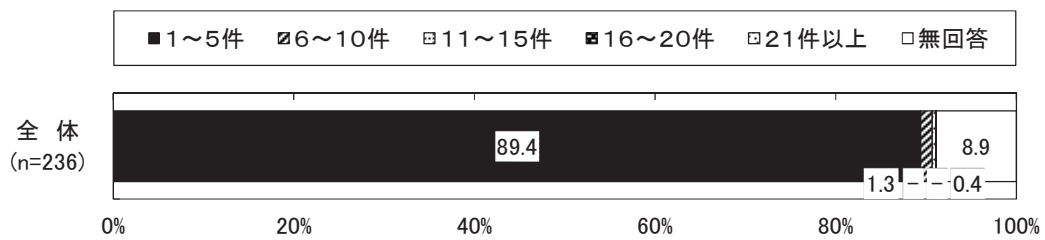
問 15 これまでに小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けたことがありますか。(〇は1つ)

【小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた経験の有無】



小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた経験の有無は、「ある」が 23.4%、「ない」が 74.7%、となっている。

【小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた件数】



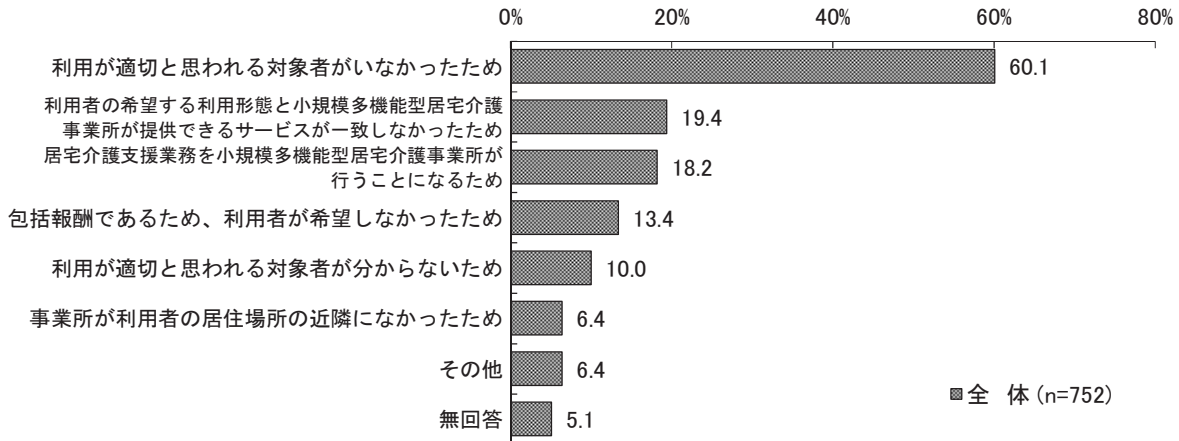
小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた件数は、「1～5件」が 89.4%で最も高く、次いで「6～10件」が 1.3%となっている。

② 小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けたことがない理由

【問 15 で「2.」と答えた方にかがいます】

問 15-1 これまで計画に位置付けていない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

【小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けたことがない理由】



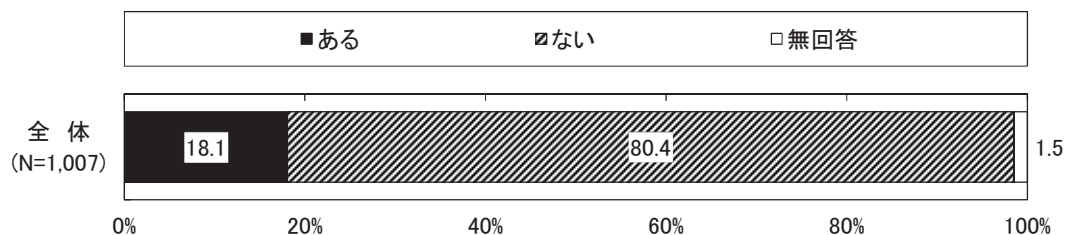
小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けたことがない理由は、「利用が適切と思われる対象者がいなかったため」が 60.1%で最も高く、次いで「利用者の希望する利用形態と小規模多機能型居宅介護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため」が 19.4%、「居宅介護支援業務を小規模多機能型居宅介護事業所が行うことになるため」が 18.2%となっている。

## (8) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた経験

## ① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた経験

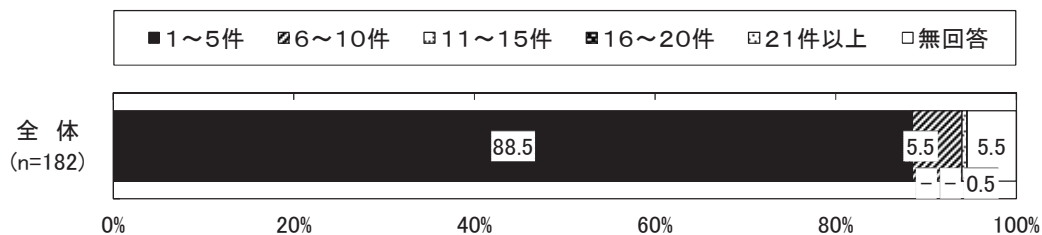
問16 これまでに定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けたことがありますか。  
(○は1つ)

## 【定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた経験】



定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた経験の有無は、「ある」が18.1%、「ない」が80.4%となっている。

## 【定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた件数】



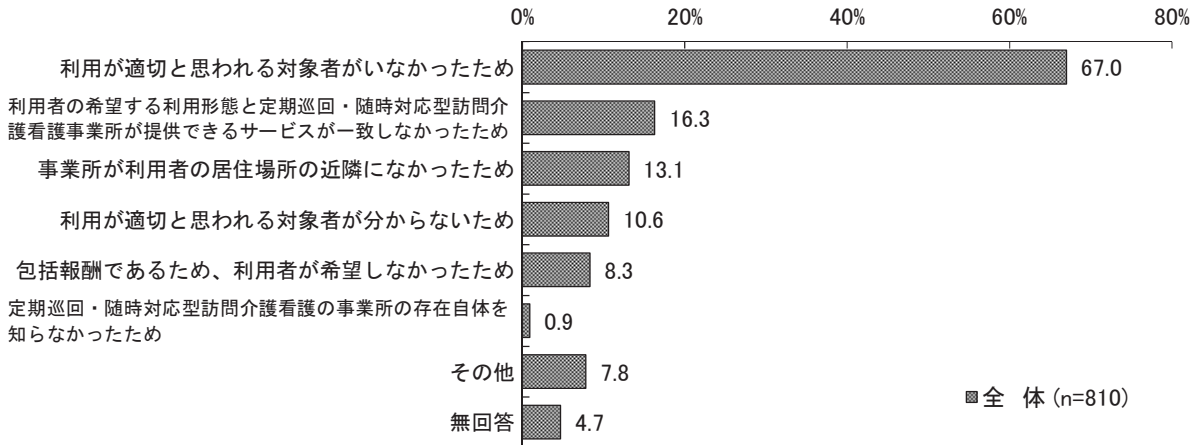
定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた件数は、「1～5件」が88.5%で最も高く、次いで「6～10件」が5.5%となっている。

② 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けたことがない理由

【問 16 で「2.」と答えた方にうかがいます】

問 16-1 これまで計画に位置付けていない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

【定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けたことがない理由】



定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けたことがない理由は、「利用が適切と思われる対象者がいなかったため」が 67.0%で最も高く、次いで「利用者の希望する利用形態と定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため」が 16.3%、「事業所が利用者の居住場所の近隣になかったため」が 13.1%となっている。

## (9) 計画作成で利用しにくいサービス

問 17 ケアマネジャーとして居宅サービス計画作成するに当たり、全体的に利用しにくいサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

## 【計画作成で利用しにくいサービスの理由】

	回答数	事業所の質が悪い	サービスの利用料が高い	サービスの利用の基準が厳しすぎる	サービス内容が利用者の希望とそぐわない	その他
(介護予防) 訪問介護	276	66	9	108	118	80
(介護予防) 訪問入浴介護	281	4	194	11	58	32
(介護予防) 訪問看護	271	20	224	17	28	25
(介護予防) 訪問リハビリテーション	288	7	142	98	39	61
(介護予防) 通所介護	108	34	12	11	53	32
(介護予防) 通所リハビリテーション	179	22	55	36	55	62
(介護予防) 福祉用具貸与	93	7	22	42	12	27
(介護予防) 居宅療養管理指導	167	29	51	12	50	67
(介護予防) 短期入所生活介護	141	19	27	14	45	70
(介護予防) 短期入所療養介護	178	12	41	38	35	80
(介護予防) 福祉用具購入	44	3	22	8	6	14
(介護予防) 住宅改修	67	17	21	16	6	24
(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	244	16	46	13	132	78
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	305	10	103	26	114	118
夜間対応型訪問介護	233	3	56	19	76	110
(介護予防) 認知症対応型通所介護	163	9	81	7	29	58
その他の居宅サービス	8	1	0	1	0	7

居宅サービス計画作成するに当たり利用しにくいサービスは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が305件で最も多く、次いで「(介護予防) 訪問リハビリテーション」が288件、「(介護予防) 訪問入浴介護」が281件となっている。

(10) 計画作成で過剰なサービス

問 18 ケアマネジャーとして居宅サービス計画作成するに当たり、全体的に必ずしも必要ではないが、計画に組み込んでいるサービス（過剰サービス）があれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

【計画作成で過剰なサービス】

	回 答 数	が 難 し か っ た	必 ず し も 必 要 で は な い が 調 整 用	難 し か っ た	必 ず し も 必 要 で は な い が 調 整 用	業 務 の 意 向 で は な い が 関 係 な	た の 所 属 す る 業 務 に 関 係 な	必 ず し も 必 要 で は な い が 利 用 を	勧 め た	す べ く 必 要 で は な い が 利 用 を	必 ず し も 必 要 で は な い が 利 用 を	そ の 他
(介護予防) 訪問介護	249	144	115	22	66	28						
(介護予防) 訪問入浴介護	15	1	4	0	5	7						
(介護予防) 訪問看護	91	13	21	16	45	14						
(介護予防) 訪問リハビリテーション	83	30	31	14	13	10						
(介護予防) 通所介護	95	25	32	20	25	19						
(介護予防) 通所リハビリテーション	45	14	16	7	11	5						
(介護予防) 福祉用具貸与	125	49	58	10	43	9						
(介護予防) 居宅療養管理指導	175	28	28	71	28	63						
(介護予防) 短期入所生活介護	67	6	31	2	30	5						
(介護予防) 短期入所療養介護	24	2	14	1	6	5						
(介護予防) 福祉用具購入	44	12	19	2	16	4						
(介護予防) 住宅改修	57	13	37	3	15	7						
(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	12	0	4	1	4	3						
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	18	1	1	2	8	6						
夜間対応型訪問介護	10	0	3	0	2	5						
(介護予防) 認知症対応型通所介護	10	0	3	1	0	6						
その他の居宅サービス	5	0	2	0	0	3						

居宅サービス計画作成するに当たり、全体的に必ずしも必要ではないが計画に組み込んでいるサービスは、「(介護予防) 訪問介護」が 249 件で最も多く、次いで「(介護予防) 居宅療養管理指導」が 175 件、「(介護予防) 福祉用具貸与」が 125 件となっている。



(11) 計画作成で不足しているサービス

問 19 ケアマネジャーとして居宅サービス計画作成するに当たり、全体的に不足していると思うサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

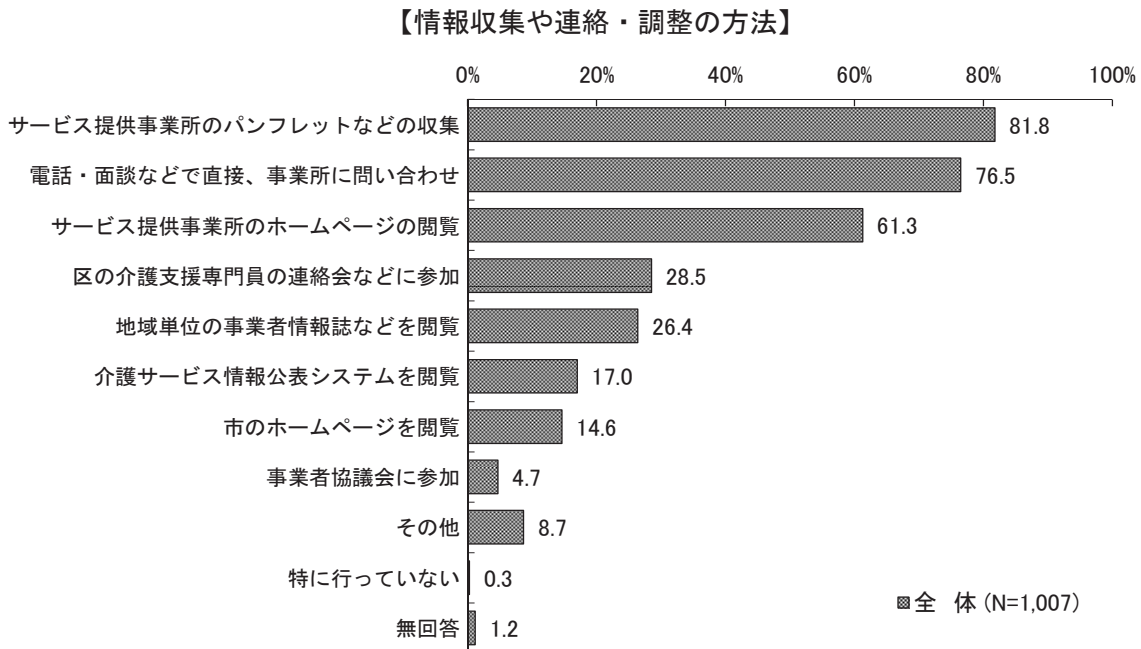
【計画作成で不足しているサービスの理由】

	回 答 数	に 必 要 な サ ー ビ ス を 提 供 す る に あ ら な い 理 由	時 間 に あ ら な い 理 由	事 業 所 に あ ら な い 理 由	利 用 者 が あ ら な い 理 由	家 族 が あ ら な い 理 由	の サ ー ビ ス に あ ら な い 理 由	そ の 他
(介護予防) 訪問介護	343	46	239	63	45	58	41	
(介護予防) 訪問入浴介護	75	5	13	25	20	28	4	
(介護予防) 訪問看護	176	8	28	61	49	84	9	
(介護予防) 訪問リハビリテーション	116	29	15	45	20	30	8	
(介護予防) 通所介護	174	23	27	79	18	57	15	
(介護予防) 通所リハビリテーション	160	50	41	53	14	23	17	
(介護予防) 福祉用具貸与	52	1	1	28	9	14	5	
(介護予防) 居宅療養管理指導	73	7	3	21	20	30	7	
(介護予防) 短期入所生活介護	145	33	42	25	13	45	16	
(介護予防) 短期入所療養介護	72	27	19	11	6	22	7	
(介護予防) 福祉用具購入	37	1	0	15	18	10	2	
(介護予防) 住宅改修	45	0	0	20	19	15	4	
(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	76	30	5	16	19	17	4	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	144	82	23	20	16	22	17	
夜間対応型訪問介護	111	64	15	14	11	17	12	
(介護予防) 認知症対応型通所介護	56	28	1	9	9	9	8	
その他の居宅サービス	3	2	1	0	0	0	1	

居宅サービス計画作成するに当たり、不足していると思うサービスは、「(介護予防) 訪問介護」が343件で最も多く、次いで「(介護予防) 訪問看護」が176件、「(介護予防) 通所介護」が174件となっている。

(12) 情報収集や連絡・調整の方法

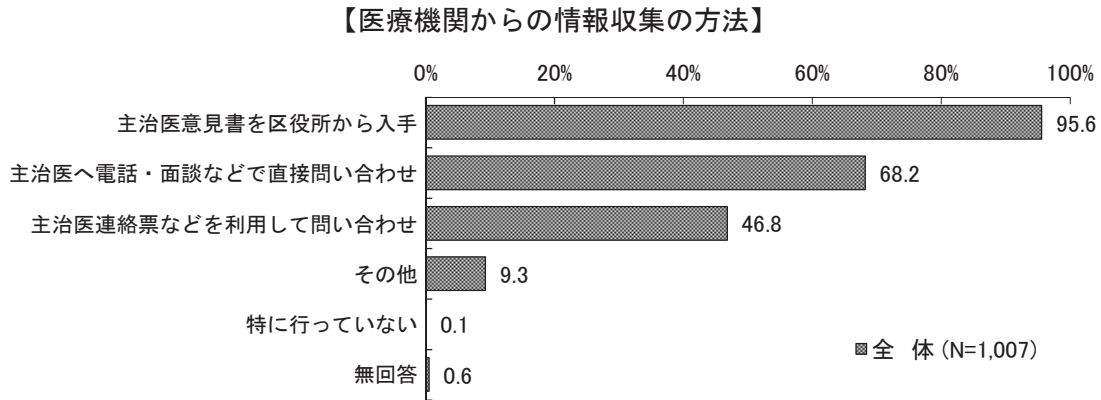
問 20 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。  
(〇はいくつでも)



情報収集や連絡・調整の方法は、「サービス提供事業所のパンフレットなどの収集」が 81.8%で最も高く、次いで「電話・面談などで直接、事業所に問い合わせ」が 76.5%、「サービス提供事業所のホームページの閲覧」が 61.3%となっている。

## (13) 医療機関からの情報収集の方法

問 21 居宅サービス計画の作成に当たり、医療機関などからの情報収集などはどのようにしていますか。(〇はいくつでも)

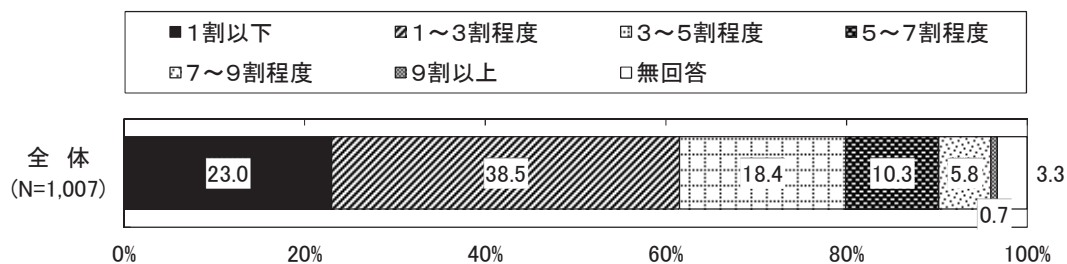


医療機関からの情報収集の方法は、「主治医意見書を区役所から入手」が 95.6%で最も高く、次いで「主治医へ電話・面談などで直接問い合わせ」が 68.2%、「主治医連絡票などを利用して問い合わせ」が 46.8%となっている。

(14) 自立につながる支援が出来たケアプランの割合

問 22 自立につながる支援が出来たと思うケアプランを、これまでにどの程度作成できたと考えますか。(〇は1つ)

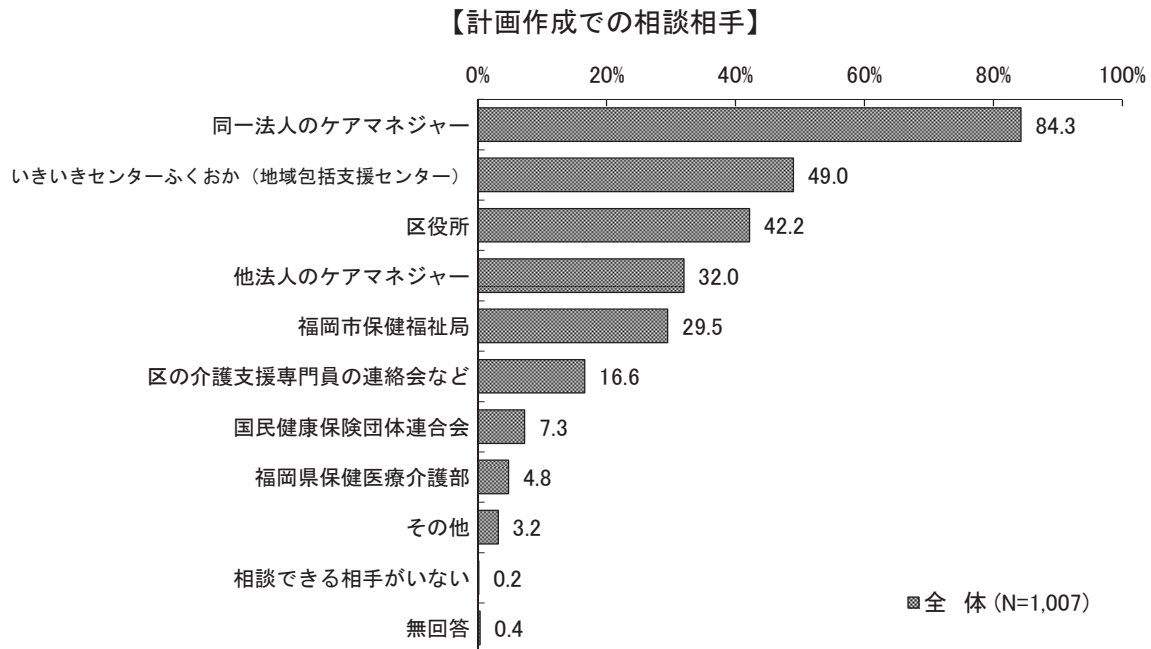
【自立につながる支援が出来たケアプランの割合】



自立につながる支援が出来たケアプランの割合は、「1～3割程度」が38.5%で最も高く、次いで「1割以下」が23.0%、「3～5割程度」が18.4%となっている。

## (15) 計画作成での相談相手

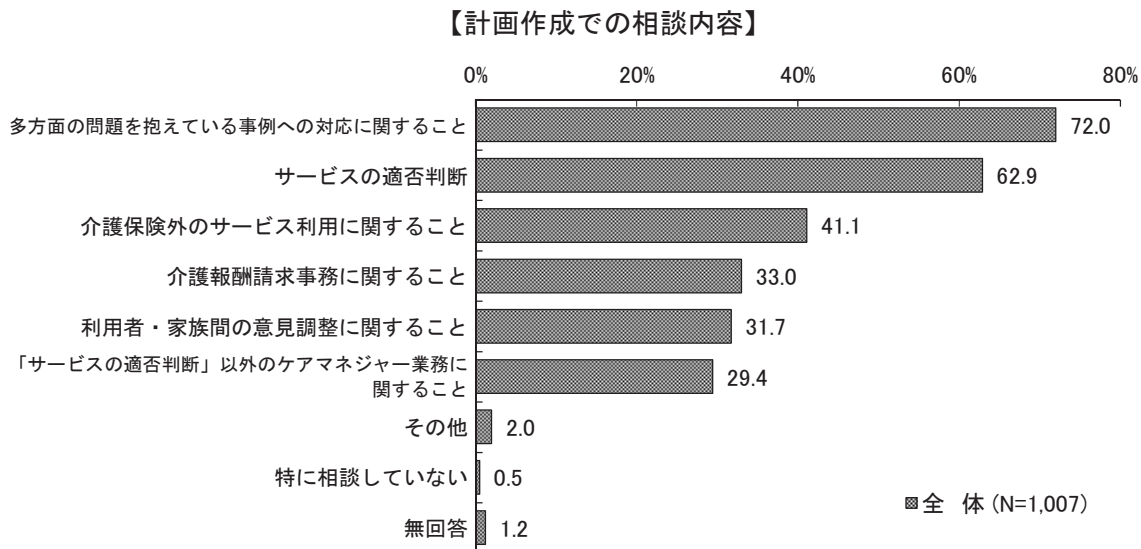
問 23 居宅サービス計画を作成する上で、分からないことや困ったことがあったとき、誰に相談していますか。(〇はいくつでも)



計画作成での相談相手は、「同一法人のケアマネジャー」が 84.3%で最も高く、次いで「いきいきセンターふくおか (地域包括支援センター)」が 49.0%、「区役所」が 42.2%となっている。

(16) 計画作成での相談内容

問 24 どのようなことを相談していますか。(〇はいくつでも)

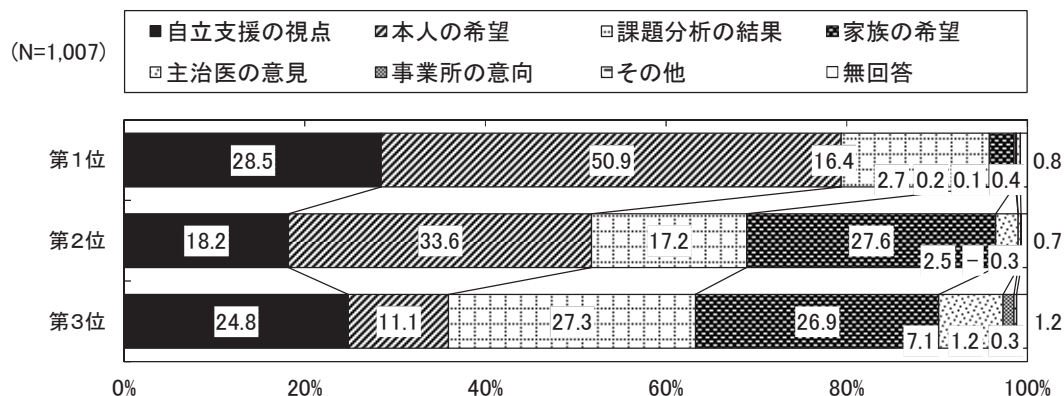


計画作成での相談内容は、「多方面の問題を抱えている事例への対応に関すること」が 72.0%で最も高く、次いで「サービスの適否判断」が 62.9%、「介護保険外のサービス利用に関すること」が 41.1%となっている。

## (17) 計画作成の際に重視していること

問 25 居宅サービス計画作成の際に、何を重視してサービスを組み立てていますか。下記から上位3つを選択し、番号を記入してください。

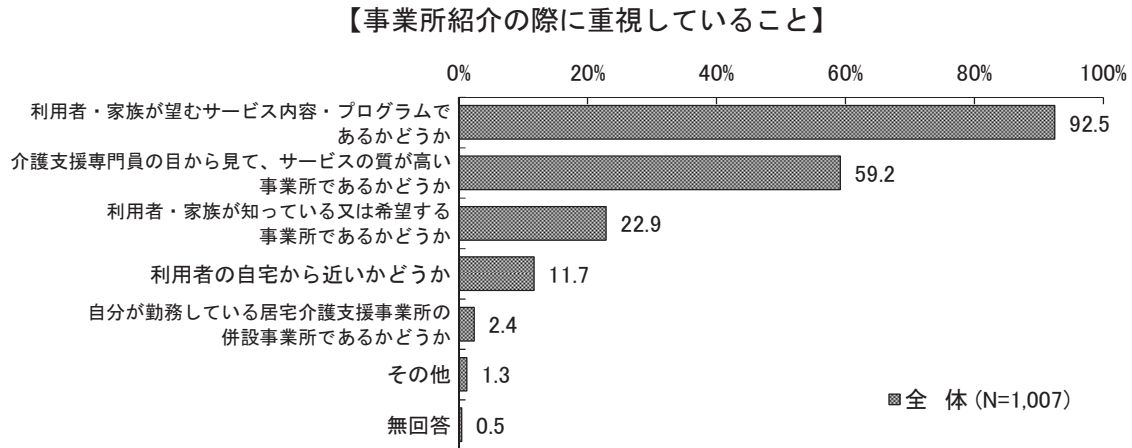
【計画作成の際に重視していること】



計画作成の際に重視していること第1位は、「本人の希望」が50.9%で最も高く、次いで「自立支援の視点」が28.5%、「課題分析の結果」が16.4%となっている。第2位は、「本人の希望」が33.6%で最も高く、次いで「家族の希望」が27.6%、「自立支援の視点」が18.2%となっている。第3位は、「課題分析の結果」が27.3%で最も高く、次いで「家族の希望」が26.9%、「自立支援の視点」が24.8%となっている。

(18) 事業所紹介の際に重視していること

問 26 あなたは利用者に対して、どんな基準を重視してサービス事業所を紹介していますか。  
(〇は2つまで)



事業所紹介の際に重視していることは、「利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか」が 92.5% で最も高く、次いで「介護支援専門員目から見て、サービスの質が高い事業所であるかどうか」が 59.2%、「利用者・家族が知っている又は希望する事業所であるかどうか」が 22.9% となっている。

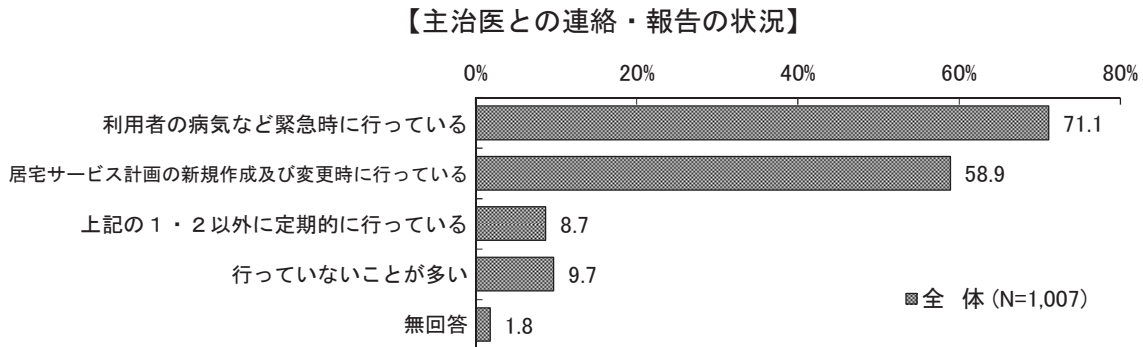


### 3. 他機関との連携について

#### (1) 主治医との連携

##### ① 主治医との連絡・報告の状況

問27 主治医との連絡・報告を行っていますか。(〇はいくつでも)

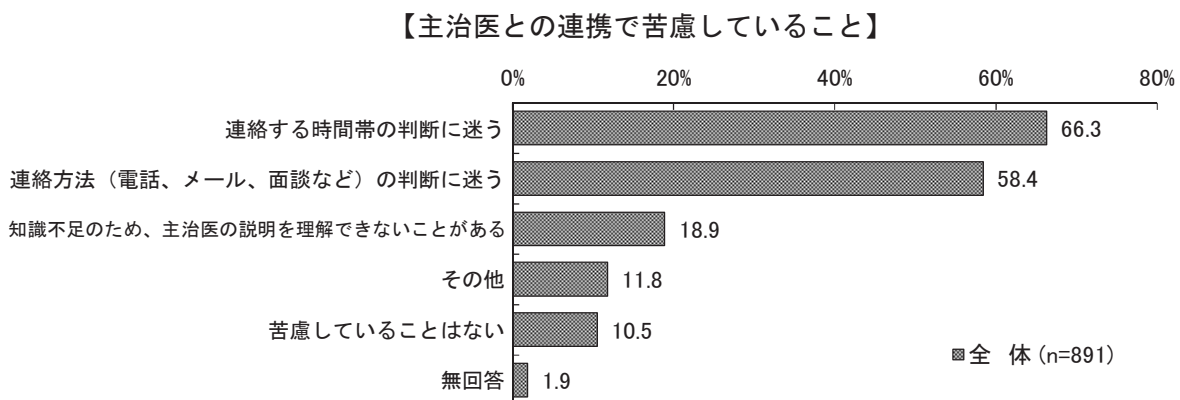


主治医との連絡・報告の状況は、「利用者の病気など緊急時に行っている」が71.1%で最も高く、次いで「居宅サービス計画の新規作成及び変更時に行っている」が58.9%、「行っていないことが多い」が9.7%となっている。

##### ② 主治医との連携で苦慮していること

#### 【問27で「1.～3.」と答えた方にうかがいます】

問27-1 主治医との連携で、苦慮していることはありますか。(〇はいくつでも)

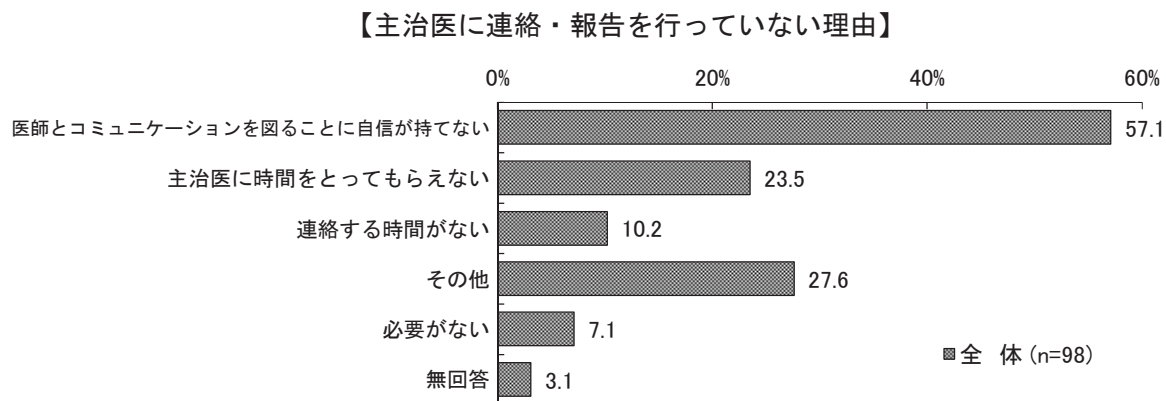


主治医との連携で苦慮していることは、「連絡する時間帯の判断に迷う」が66.3%で最も高く、次いで「連絡方法（電話、メール、面談など）の判断に迷う」が58.4%、「知識不足のため、主治医の説明を理解できないことがある」が18.9%となっている。

③ 主治医に連絡・報告を行っていない理由

【問 27 で「4.」と答えた方にうかがいます】

問 27-2 主治医に連絡・報告を行っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

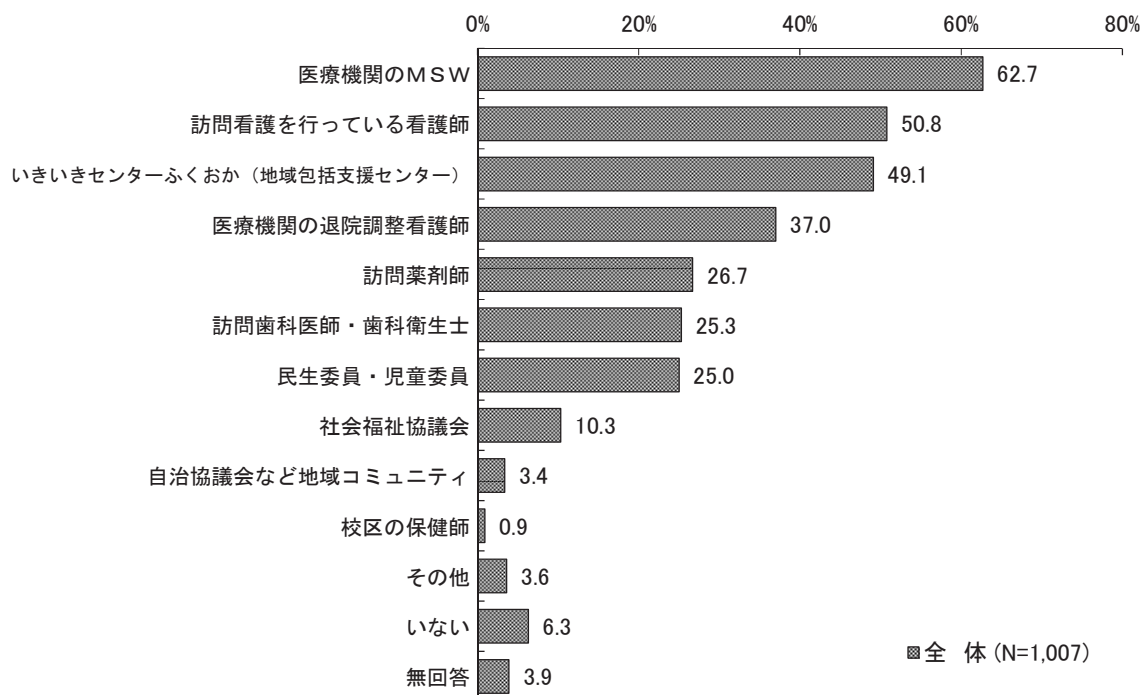


主治医に連絡・報告を行っていない理由は、「医師とコミュニケーションを図ることに自信が持てない」が 57.1%で最も高く、次いで「主治医に時間をとってもらえない」が 23.5%となっている。

## (2) 主治医・サービス事業所以外に利用者に関して連絡を取っている相手

問 28 主治医・サービス事業所以外に利用者に関して日頃、連絡を取っている人はいますか。  
(〇はいくつでも)

【主治医・サービス事業所以外に利用者に関して連絡を取っている相手】

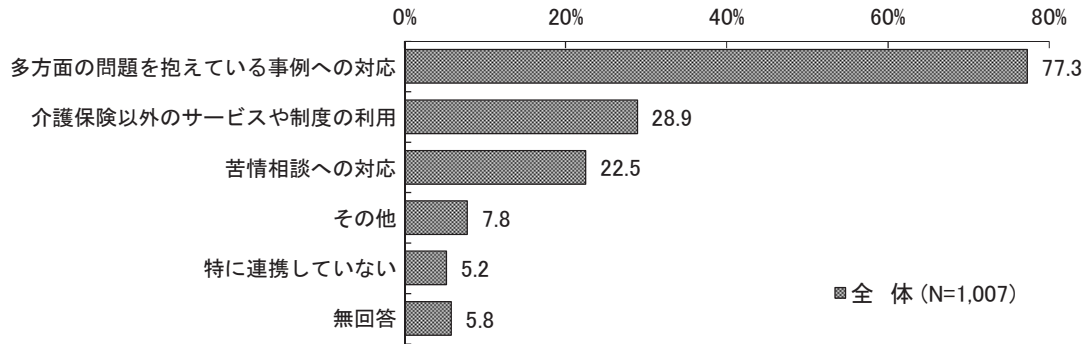


主治医・サービス事業所以外に利用者に関して連絡を取っている相手は、「医療機関のMSW」が62.7%で最も高く、次いで「訪問看護を行っている看護師」が50.8%、「いきいきセンターふくおか (地域包括支援センター)」が49.1%となっている。

(3) 地域包括支援センター・区役所などと連携する状況

問 29 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）・区役所などと連携するときにはどのような場合ですか。（〇はいくつでも）

【地域包括支援センター・区役所などと連携する状況】



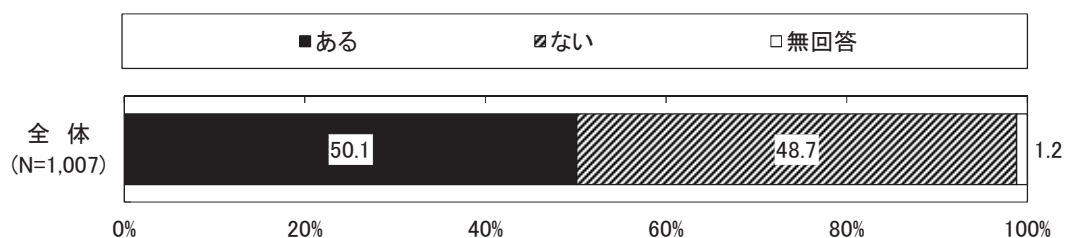
地域包括支援センター・区役所などと連携する状況は、「多方面の問題を抱えている事例への対応」が 77.3% で最も高く、次いで「介護保険以外のサービスや制度の利用」が 28.9%、「苦情相談への対応」が 22.5% となっている。

## (4) 地域ケア会議

## ① 地域ケア会議への参加

問 30 個別や圏域での地域ケア会議に参加したことはありますか。(〇は1つ)

【地域ケア会議への参加】



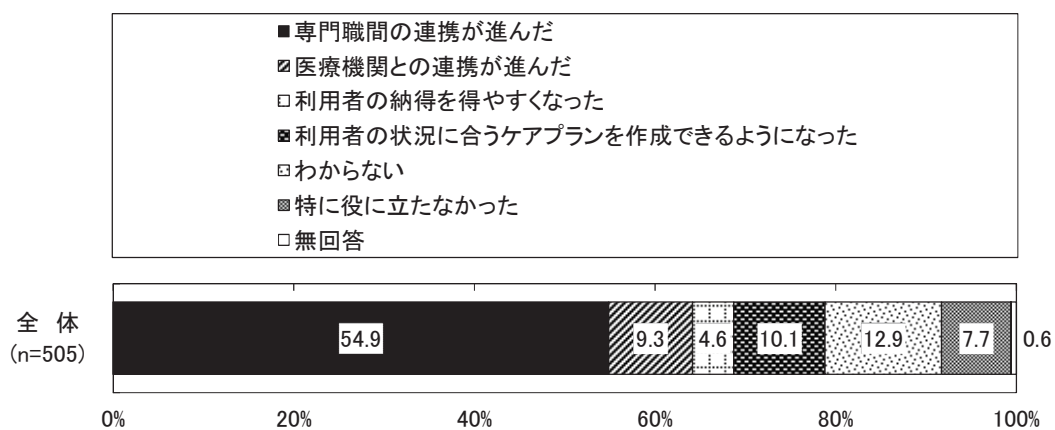
地域ケア会議への参加経験は、「ある」が50.1%、「ない」が48.7%となっている。

## ② 地域ケア会議の効果

## 【問 30 で「1.」と答えた方にうかがいます】

問 30-1 参加後、業務の円滑化に役立ちましたか。(〇は1つ)

【地域ケア会議の効果】

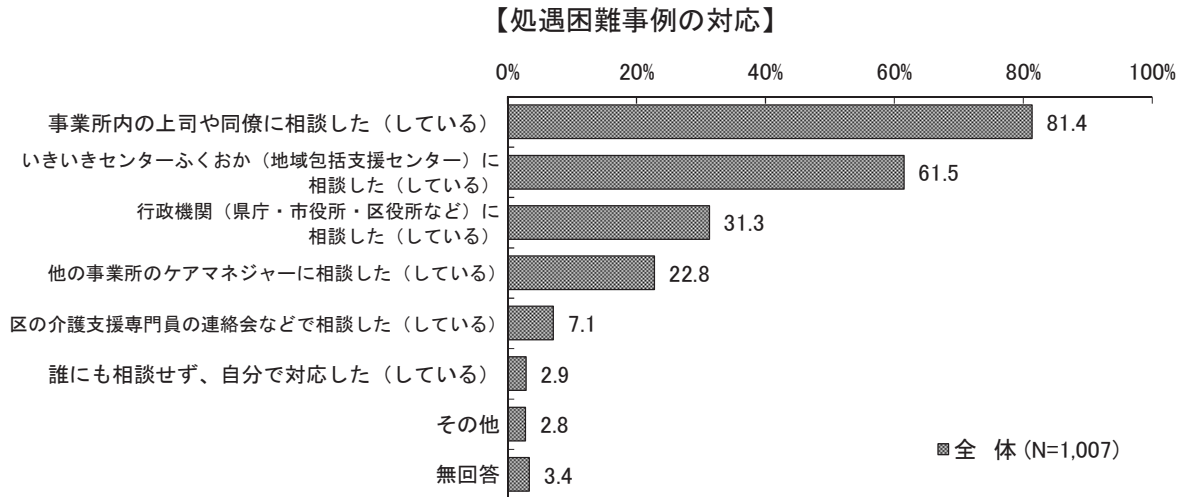


地域ケア会議に参加した効果としては、「専門職間の連携が進んだ」が54.9%で最も高く、次いで「利用者の状況に合うケアプランを作成できるようになった」が10.1%となっている。

## 4. 処遇困難事例などへの対応について

### (1) 処遇困難事例の対応

問 31 あなたは処遇困難事例について主にどのように対応してきましたか。(〇はいくつでも)



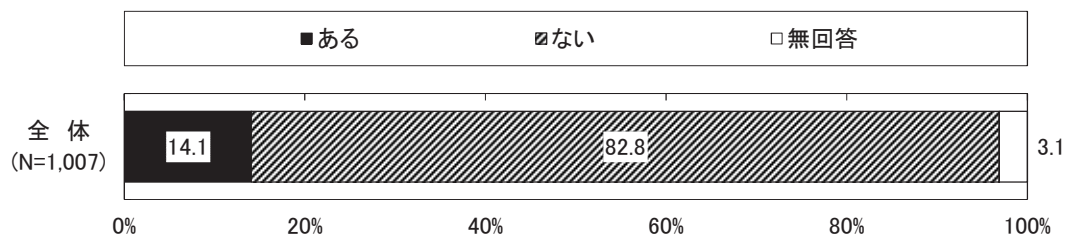
処遇困難事例の対応は、「事業所内の上司や同僚に相談した (している)」が 81.4% で最も高く、次いで「いきいきセンターふくおか (地域包括支援センター) に相談した (している)」が 61.5%、「行政機関 (県庁・市役所・区役所など) に相談した (している)」が 31.3% となっている。

## (2) 高齢者虐待事例の状況

## ① 高齢者虐待事例の有無

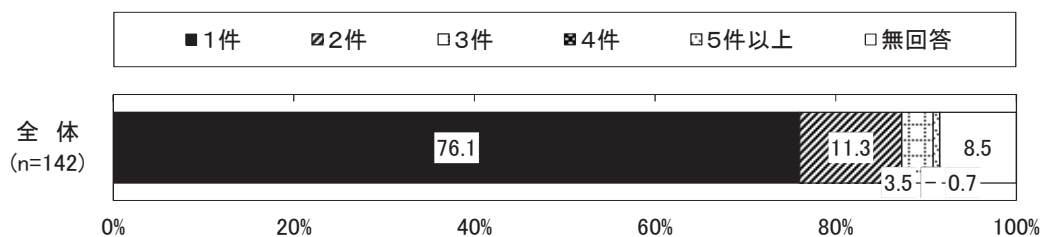
問33 平成28年10月の給付管理を行ったケース（利用者が10月にサービスを利用し、介護報酬の対象となったケース）のうち、高齢者虐待と思われる事例はありますか。あればその件数も記入してください。（〇は1つ）

【高齢者虐待事例の有無】



高齢者虐待事例の有無は、「ある」が14.1%、「ない」が82.8%となっている。

【高齢者虐待事例の件数】

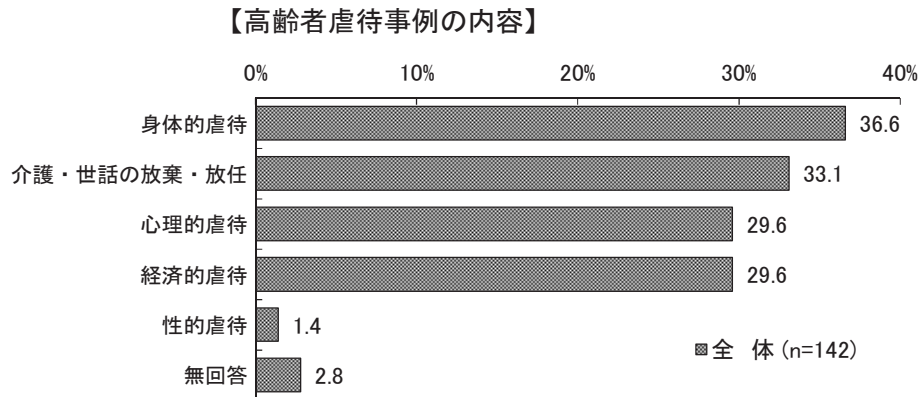


高齢者虐待事例の件数は、「1件」が76.1%で最も高く、次いで「2件」が11.3%となっている。

② 高齢者虐待事例の内容

【問 33 で「1.」と答えた方にうかがいます】

問 33-1 その事例はどのような事例ですか。該当するものの番号を○で囲み、また事例の件数も記入してください。(○はいくつでも)

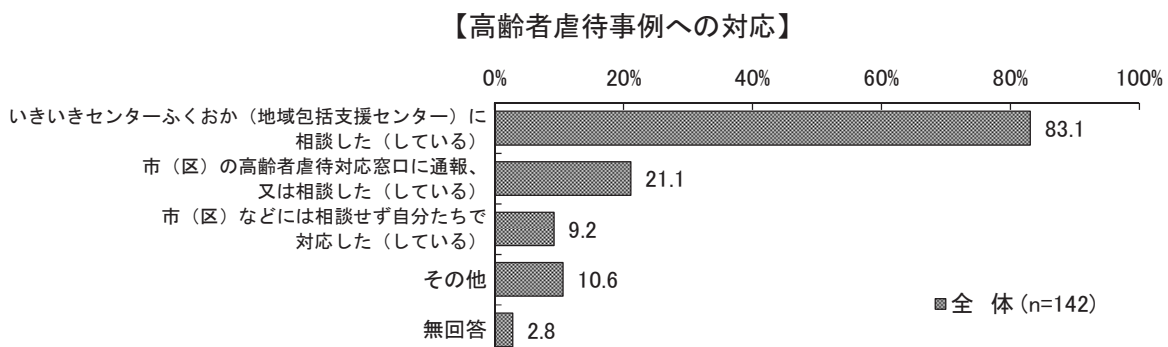


高齢者虐待事例の内容は、「身体的虐待」が 36.6%で最も高く、次いで「介護・世話の放棄・放任」が 33.1%、「心理的虐待」「経済的虐待」がともに 29.6%となっている。

③ 高齢者虐待事例への対応

【問 33 で「1.」と答えた方にうかがいます】

問 33-2 あなたは高齢者虐待事例について主にどのように対応してきましたか。(○はいくつでも)



高齢者虐待事例への対応は、「いきいきセンターふくおか (地域包括支援センター) に相談した (している)」が 83.1%で最も高く、次いで「市 (区) の高齢者虐待対応窓口に通報、又は相談した (している)」が 21.1%となっている。

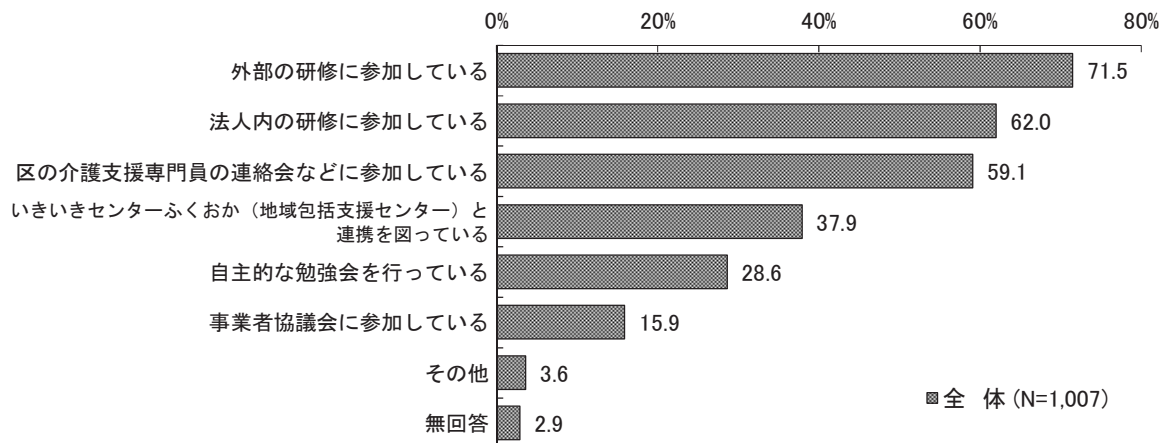


## 5. 資質向上の取り組みについて

### (1) 業務のレベルアップのために行っている取り組み

問 34 自分のケアマネジャー業務のレベルアップのために、どのような取り組みを行っていますか。(〇はいくつでも)

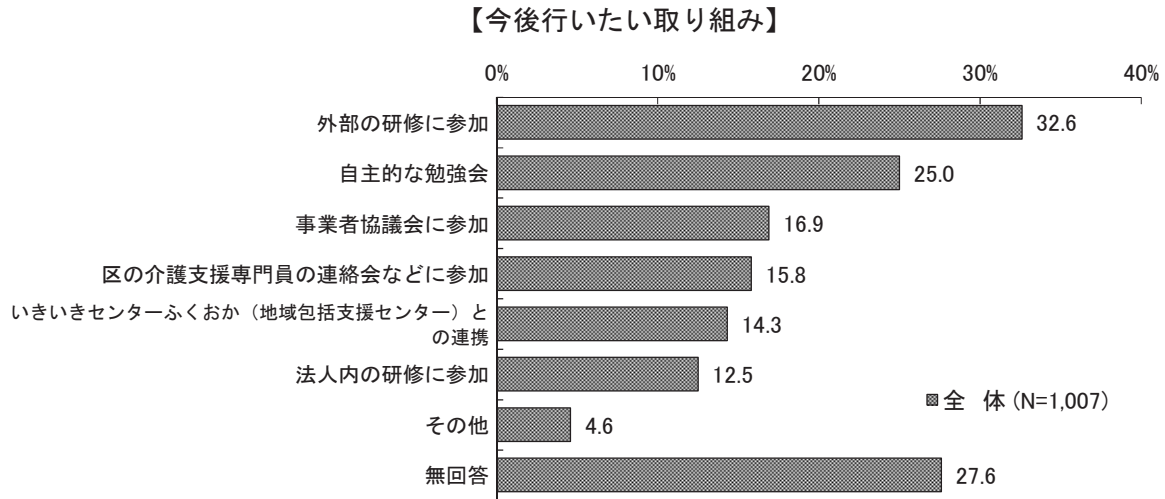
【業務のレベルアップのために行っている取り組み】



業務のレベルアップのために行っている取り組みは、「外部の研修に参加している」が 71.5%で最も高く、次いで「法人内の研修に参加している」が 62.0%、「区の介護支援専門員の連絡会などに参加している」が 59.1%となっている。

(2) 今後行いたい取り組み

問 35 ケアマネジャー業務のレベルアップのために、現在行っていないが今後行ってみたいと思っている取り組みはありますか。(〇はいくつでも)

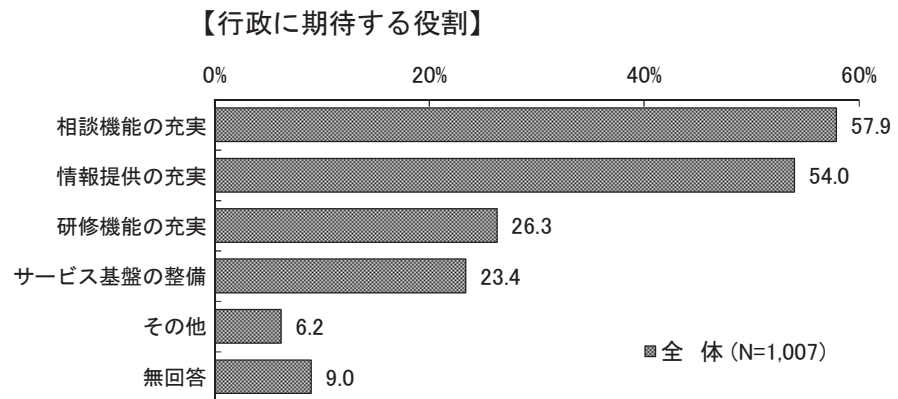


今後行いたい取り組みは、「外部の研修に参加」が 32.6%で最も高く、次いで「自主的な勉強会」が 25.0%、「事業者協議会に参加」が 16.9%となっている。

## 6. 行政の役割について

### (1) 行政に期待する役割

問37 今後、行政に期待する役割は何ですか。(〇はいくつでも)



今後、行政に期待する役割は、「相談機能の充実」が57.9%で最も高く、次いで「情報提供の充実」が54.0%、「研修機能の充実」が26.3%となっている。

(2) 不足しているサービス

【問 37 で「3.」と答えた方にうかがいます】

問 37-1 サービス事業所が不足しているため、またはサービス事業所が提供するサービス量が不足しているため、現在あなたが担当しているケース（利用者）で、不足していると思うサービスは何ですか。ケース毎に要介護度と不足していると思うサービスを次のページの選択肢から選び、該当する番号を記入してください。また、その不足している量も記入してください。

【不足しているサービス】

要介護度	不足しているサービス	件数	不足している量の平均(単位)
要支援1	(介護予防)通所介護	41	3.66 (回/月)
	(介護予防)訪問介護	12	4.08 (時間/月)
	(介護予防)通所リハビリテーション	12	4.33 (回/月)
要支援2	(介護予防)通所介護	21	5.24 (回/月)
	(介護予防)訪問介護	13	4.23 (時間/月)
	(介護予防)通所リハビリテーション	9	6.00 (回/月)
要介護1	(介護予防)訪問介護	18	6.56 (時間/月)
	(介護予防)通所介護	10	5.00 (回/月)
	(介護予防)福祉用具貸与	7	1.86 (人/月)
要介護2	(介護予防)訪問介護	25	9.12 (時間/月)
	(介護予防)通所介護	16	3.75 (回/月)
	(介護予防)短期入所生活介護	8	6.50 (日/月)
	夜間対応型訪問介護	8	6.75 (人/月)
要介護3	介護老人福祉施設	15	1.00 (人/月)
	(介護予防)訪問介護	12	15.92 (時間/月)
	(介護予防)短期入所生活介護	6	4.67 (日/月)
要介護4	(介護予防)訪問介護	11	18.91 (時間/月)
	介護老人福祉施設	8	0.88 (人/月)
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	7	0.43 (人/月)
要介護5	(介護予防)訪問介護	14	12.93 (時間/月)
	介護老人福祉施設	7	0.86 (人/月)
	(介護予防)通所介護	4	4.50 (回/月)
	(介護予防)短期入所生活介護	4	4.75 (日/月)

今後、行政に期待する役割として「サービス基盤の整備」を回答した介護支援専門員に対し、どのサービスが不足しているのか質問し、その結果について要介護度別に上位3項目を記載した。